

5 前年度の課題に対する対応状況

ベンチマークレポート [2016年9月] の「ベンチマークからみた主な課題」について、平成29年度当初予算で計上した主な事業は次のとおり

ベンチマークからみた主な課題	主な事業等
(1) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現	
☆ 出生数増加に向けた取組強化	・少子化対策総合戦略事業費
☆ 安心して子育てができる社会づくり	・子育てピアサポート事業費 ・子ども・子育て基盤整備事業費 ・「家計にやさしい」子育てあんしん京都事業費 ・きょうとこどもの城づくり事業費
(2) 府民総活躍の推進	
☆ 雇用のミスマッチの解消	・就労環境改善サポート事業費 ・若者就職支援等推進事業費 ・就労・奨学金返済一体型支援事業費
☆ すべての府民が活躍できる社会づくり	・高齢者安心社会実現事業費 ・女性活躍障壁打破事業費 ・障害者雇用サポート強化事業費
(3) 未来を拓く人づくり	
☆ グローバル人材の育成	・京都次世代グローバル人材育成事業費
☆ 生涯学習の推進	・生涯学習総合推進費
(4) 地域経済の活性化	
☆ 京都舞鶴港の活用などによる物流・人流の強化	・京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業費
☆ 伝統産業の振興	・伝統産業復活事業費 ・次世代職人育成事業費
☆ 農林水産業における競争力のある経営体の育成	・京の食ビジネス改革事業費
(5) 地域の資源や個性を活かした魅力ある京都づくり	
☆ 地域の絆を強化する仕組みづくり	・まちの課題・チーム型解決事業費 ・「命の里」農山漁村里力再生事業費
☆ 伝統文化の体験機会の充実と継承、文化財の保護・活用	・文化財保護緊急強化事業費 ・こころのふるさと京都の文化財保護事業費

ベンチマークからみた主な課題	主な事業等
(6) 暮らしの安心の確保	
☆ 人権が尊重される社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止対策等推進事業費 ・青少年インターネット被害対応事業費
☆ 医療・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・総合医師確保対策費 ・地域医療機能強化特別事業費
☆ 高齢者の交通事故対策	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全施設整備費 ・交通安全対策等事業費
☆ 地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災力強化事業費 ・わがまちの消防団強化・応援事業費
(7) 持続可能な生活環境モデルの構築	
☆ 資源循環の仕組みの確立	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物3R支援センター事業費
☆ 生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性戦略総合対策事業費 ・京都動物愛護センター共同運営事業費

6 中期計画を推進するために

中期計画を推進するに当たり、重視すべき「視点」に基づく主な施策・事業に係る 2016 年度の実施状況や今後の見通しをまとめる。

視点	2016 年度の実施状況や今後の見通し
人権という普遍的文化の構築	<p>人権尊重を日常生活の習慣として身に付け、実践できる豊かな社会の実現をめざし、幅広い府民を対象とした様々な人権問題に関する啓発活動を実施</p>
京都府創生に向けた新しい地域戦略の推進	<p>2015 年 10 月に「京都府人口ビジョン」「京都府地域創生戦略」を策定。本格的な人口減少局面に見舞われ、将来にわたって活力ある京都を維持することが難しくなる中、地方から若者を吸収する東京一極集中構造や、社会の実態にそぐわない固定化した価値観を変革し、オール京都で「文化創生」から新たな生活をつくるために、4 つの基本目標（「京都の未来を拓く人をつくる」「地域経済を活性化させ、仕事をつくる」「京都への人の流れをつくる」「持続可能で魅力と活力のある地域をつくる」）と、その達成状況を客観的に評価するための K P I（重要業績評価指標）を設定</p> <p>2016 年度の K P I 平均達成率は、4 つの基本目標全てで 9 割を超えるとともに、最終目標に対する 2 年間の達成率も 7 割を上回っており、順調に効果を上げている。今後、更に地域創生を深化させていくためには、これまでの成果を一過性に終わらせることなく、全ての府民が豊かになるよう波及させていくことが重要</p> <p>2017 年度はこれまで築き上げてきた基盤の上に、府民一人ひとりが互いに支え合う中で希望が実現できる「共生社会」を焦点に 16 の重点事業を展開</p>
基本目標等に基づく施策のマネジメント	<p>「運営目標の設定」、ベンチマークレポートによる「前年度実施状況の点検」、府民の生活実感を測る「京都府民の意識調査」の実施、アクションプランや重点戦略等調整会議による「次年度の新規施策の検討」「次年度予算の検討・編成」というマネジメントを推進</p> <p>2015 年 4 月にスタートした新しい中期計画・地域振興計画では、測定指標（数値目標）を府民とより共有しやすく、計画の進捗状況等がわかりやすいものとなるよう、使命・基本目標の達成状況を的確に表すアウトカム指標に改定</p>

視点	2016年度の実施状況や今後の見通し
<p>地域の実情に応じた柔軟で実効ある取組の推進</p>	<p>府民協働防犯ステーションを核として、2,086団体が参加した住民・警察・行政の協働による地域防犯活動を積極的に展開した結果、2016年中の刑法犯認知件数が前年比3,589件（14.9%）減少</p>
<p>府民満足最大化・京都市力結集プランの推進</p>	<p>性暴力被害者の負担を軽減する「京都性暴力被害者ワンストップ相談支援センター」の運営や、京都府・京都市共同による「京都動物愛護センター」の運営、水産行政の連携拠点「京都府水産総合振興センター」の開設等、府民サービスのワンストップ化を推進</p> <p>府北部7市町による「京都府北部地域連携都市圏」の取組をはじめ、けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）の本格稼働を後押しする「京都イノベーション推進拠点」、京都大学内での「きょうと健康長寿・未病改善センター（ブランチ）」の運営や、民間ノウハウを活かした「丹後王国「食のみやこ」」の取組、「海・森・お茶の京都DMO」の設立等、多様な主体との連携・協働を進化</p> <p>仕事をもちながら、地域住民等と協働関係を築き、地域の特定課題の解決に長期的に取り組む公共的役割を担う人材を、全国初の「公共員」と位置付け、まちの公共員、里の公共員、コミュニティ・コンビニ公共員の配置等、地域社会の維持・活性化を目指す新しい仕組みを構築</p> <p>民間企業の手法を取り入れた「新地方公会計制度」の2016年度決算からの導入に向けた新公会計システムの整備・会計基準の策定や、公共施設の長寿命化を計画的に行うための「公共施設等管理方針」の策定、また「京都府人材育成プラン」による研修内容の充実・強化等、持続可能な財政構造の確立と人材の育成・強化を推進</p>